平成25年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年２月７日

上 場 会 社 名　　株式会社ＡＯＫＩホールディングス　　上場取引所　　東・大
コ ー ド 番 号　　8214　　URL　http://www.aoki-hd.co.jp/
代　　表　　者　(役職名)　代表取締役社長　　(氏名)　青木　彰宏
問合せ先責任者　(役職名)　取締役副社長　　(氏名)　田村　春生　　(TEL) 045-941-1388
四半期報告書提出予定日　　平成25年２月12日　　配当支払開始予定日　　ー
四半期決算補足説明資料作成の有無　　：無
四半期決算説明会開催の有無　　：無

(百万円未満切捨て)

１．平成25年３月期第３四半期の連結業績（平成24年４月１日～平成24年12月31日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第３四半期	112,878	8.5	9,605	23.2	9,935	16.9	5,852	39.4
24年３月期第３四半期	104,082	7.3	7,799	9.5	8,500	6.4	4,199	23.8

(注) 包括利益　25年３月期第３四半期　5,723百万円(41.9%)　　24年３月期第３四半期　4,033百万円(25.7%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第３四半期	140.57	140.29
24年３月期第３四半期	98.58	ー

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第３四半期	181,814	107,346	58.9
24年３月期	176,779	103,994	58.6

(参考) 自己資本　25年３月期第３四半期　107,149百万円　　24年３月期　103,589百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	ー	15.00	ー	20.00	35.00
25年３月期	ー	20.00	ー		
25年３月期(予想)				25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：有
期末配当予想の修正につきましては、本日別途開示しました「通期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

３．平成25年３月期の連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	157,270	7.3	15,900	15.5	16,350	12.1	8,700	22.7	210.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：有
通期業績予想の修正につきましては、本日別途開示しました「通期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：有

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：有

④　修正再表示　　：無

（注）第１四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料３ページ「２.サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期３Ｑ	45,624,752株	24年３月期	46,624,752株
②　期末自己株式数	25年３月期３Ｑ	4,212,919株	24年３月期	4,954,568株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年３月期３Ｑ	41,633,942株	24年３月期３Ｑ	42,598,110株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料３ページ「（３）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

頁

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（６）重要な後発事象 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間における我が国経済は、欧州の債務問題や海外経済の減速、長引く円高などから後半は景気減速感が増し、先行き不透明な状況が継続しておりますが、年末にかけては政府の経済政策への期待感から円安、株高傾向となり消費マインドはやや改善傾向となりました。また、当業界におきましては、秋冬の気温低下が追い風となり概ね堅調に推移いたしました。

このような環境のなかで、当社グループは各事業において下記のような諸施策を実施した結果、売上高は1,128億78百万円（前年同期比8.5％増）、営業利益は96億５百万円（前年同期比23.2％増）、経常利益は99億35百万円（前年同期比16.9％増）、四半期純利益は58億52百万円（前年同期比39.4％増）と増収増益になりました。

セグメントごとの業績は、以下のとおりです。

（ファッション事業）

ＡＯＫＩでは、「３Ｄスリム」と「３Ｄスマート」を刷新した「ハイブリッドスーツ」を発売しスーツの訴求を強化するとともに、ビジカジスタイルと大人のお出かけスタイルをトータルコーディネートで提案した「カフェ・ソーホー」及びレディス商品の品揃えを更に拡充いたしました。また、それぞれのターゲットに合わせたマーケティングの強化を図りました。店舗面では、未出店県であった青森県への２店舗同時オープンを含め、期初予定より多い累計で27店舗を新規出店する一方、移転等により８店舗を閉鎖した結果、当第３四半期末の店舗数は、459店舗（前期末440店舗）となりました。

ＯＲＩＨＩＣＡは、引き続きビジネスでもカジュアルでも「着回し」のしやすいスタイル提案を強化いたしました。店舗面では、最重要エリアである１都３県を中心に、期初からの累計で13店舗を新規出店する一方、１店舗を閉鎖した結果、当第３四半期末の店舗数は、103店舗（前期末91店舗）となっております。

これらの結果、気温の低下に伴うスーツや防寒衣料の需要拡大、リクルートの客数増加及びレディス商品が引き続き好調に推移し、特に11月の既存店売上高が大幅に増加したこと並びに新規出店効果等により、売上高は703億27百万円（前年同期比8.7％増）、営業利益は58億23百万円（前年同期比17.1％増）と増収増益になりました。

（アニヴェルセル・ブライダル事業）

ゲストハウスウエディングスタイルの挙式披露宴施設を展開しているアニヴェルセル株式会社は、業務効率化の推進を継続するとともに、施設毎の営業施策と優秀スタッフのノウハウ共有により料飲単価・一組単価上昇施策に注力いたしました。また、平成26年２月に開業予定となる「アニヴェルセル みなとみらい横浜」のご予約受付サロンをオープンし、受注状況は順調に推移しております。

これらの結果、一組単価の上昇と売上総利益率の改善等により、売上高は187億77百万円（前年同期比4.5％増）、営業利益は26億50百万円（前年同期比68.5％増）と増収、大幅な増益になりました。

（カラオケルーム運営事業）

株式会社ヴァリックのカラオケルーム運営事業は、法人企業・団体のニーズに合わせた忘年会等各種宴会コースの提案、有名アーティストや人気キャラクターとのコラボイベント開催等により、来店促進を図りました。店舗面では、駅前立地を中心に期初からの累計で10店舗を新規出店する一方、２店舗を閉鎖した結果、当第３四半期末の店舗数は、140店舗（前期末132店舗）となりました。

これらの結果、新規出店効果等により、売上高は112億48百万円（前年同期比5.5％増）、営業利益は新規出店及びリニューアル費用が増加し９億５百万円（前年同期比8.5％減）となりました。

（複合カフェ運営事業）

株式会社ヴァリックの複合カフェ運営事業は、人気オンラインゲームイベントの開催による来店促進やフードメニューの強化等を図りました。店舗面では、期初予定より多い累計で31店舗を新規出店する一方、１店舗を閉鎖した結果、当第３四半期末の店舗数は202店舗（前期末172店舗）となりました。

これらの結果、新規出店効果と既存店が引き続き堅調に推移し、売上高は125億48百万円（前年同期比16.2％増）、営業利益は新規出店費用を吸収し６億98百万円（前年同期比1.2％増）と増収増益になりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第３四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ50億34百万円増加し、1,818億14百万円となりました。

流動資産は、新規出店等によりたな卸資産が45億96百万円増加した一方、設備投資や法人税等の支払い等による現金及び預金が58億57百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ17億12百万円減少いたしました。固定資産は、新規出店等による有形固定資産が56億97百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比べ67億47百万円増加いたしました。

（負債）

流動負債は、短期借入金が20億円増加した一方、法人税等の支払いによる未払法人税等が11億68百万円及び賞与引当金が９億17百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ３億59百万円減少いたしました。固定負債は、長期借入金が設備投資のための資金調達と約定返済等が相殺され16億40百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比べ20億42百万円増加いたしました。

（純資産）

純資産の部は、自己株式が取得と消却等が相殺された結果５億73百万円減少したこと及び四半期純利益等による利益剰余金が31億14百万円増加したこと等により33億51百万円増加しております。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

通期連結業績予想につきましては、第３四半期連結累計期間の実績をベースに慎重に見積もった結果、平成24年11月８日に公表した予想から売上高を14億40百万円、営業利益を７億円、経常利益を６億50百万円、当期純利益を４億50百万円それぞれ上方修正いたしました。なお、詳細については、本日別途開示しました「通期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

セグメント別予想につきましては、特にファッション事業は３月の比重が高く実績が大きく異なる可能性がありますが、次のとおりファッション事業及びアニヴェルセル・ブライダル事業の売上高を13億円及び１億30百万円、セグメント利益を６億50百万円及び50百万円それぞれ上方修正いたしました。

【平成25年３月期のセグメント別予想】

	ファッション事業	アニヴェルセル・ブライダル事業	カラオケルーム運営事業	複合カフェ運営事業	連結
売上高(百万円)	100,700	24,250	15,400	16,950	157,270
前期比(%)	106.8	103.5	107.6	116.0	107.3
セグメント利益(百万円)	11,150	2,800	1,440	910	15,900
前期比(%)	111.7	134.2	107.6	102.5	115.5

(注) セグメント利益は営業利益ベースの数値であり、各セグメントの合計と連結との差異は、連結上の調整額です。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第３四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ63百万円増加しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,108	17,251
売掛金	6,980	5,248
たな卸資産	16,058	20,654
その他	6,788	8,065
貸倒引当金	△11	△8
流動資産合計	52,924	51,212
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	41,775	44,662
土地	31,477	31,507
その他（純額）	9,803	12,582
有形固定資産合計	83,055	88,752
無形固定資産	4,897	5,810
投資その他の資産		
差入保証金	8,857	8,362
敷金	17,146	17,772
その他	9,942	9,947
貸倒引当金	△44	△44
投資その他の資産合計	35,902	36,038
固定資産合計	123,854	130,602
資産合計	176,779	181,814
負債の部		
流動負債		
買掛金	15,053	16,687
短期借入金	―	2,000
1年内返済予定の長期借入金	6,518	5,696
未払法人税等	3,760	2,591
賞与引当金	1,786	869
役員賞与引当金	177	105
その他	10,128	9,114
流動負債合計	37,425	37,065
固定負債		
長期借入金	24,057	25,697
退職給付引当金	722	818
役員退職慰労引当金	1,511	1,606
ポイント引当金	717	768
資産除去債務	3,344	3,638
負ののれん	1,135	814
その他	3,871	4,058
固定負債合計	35,359	37,402
負債合計	72,784	74,468

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,282	23,282
資本剰余金	22,586	22,586
利益剰余金	63,252	66,366
自己株式	△5,532	△4,958
株主資本合計	103,588	107,276
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1	△127
その他の包括利益累計額合計	1	△127
新株予約権	405	196
純資産合計	103,994	107,346
負債純資産合計	176,779	181,814

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）
売上高	104,082	112,878
売上原価	56,282	59,252
売上総利益	47,800	53,625
販売費及び一般管理費	40,000	44,019
営業利益	7,799	9,605
営業外収益		
受取利息	54	65
受取配当金	74	43
不動産賃貸料	662	584
負ののれん償却額	729	729
その他	335	234
営業外収益合計	1,856	1,657
営業外費用		
支払利息	240	225
不動産賃貸費用	624	535
その他	290	567
営業外費用合計	1,155	1,328
経常利益	8,500	9,935
特別利益		
固定資産売却益	－	8
新株予約権戻入益	241	185
特別利益合計	241	194
特別損失		
差入保証金・敷金解約損	18	－
固定資産除却損	67	－
減損損失	362	159
その他	14	2
特別損失合計	462	161
税金等調整前四半期純利益	8,278	9,967
法人税、住民税及び事業税	2,660	3,591
法人税等調整額	1,419	523
法人税等合計	4,079	4,115
少数株主損益調整前四半期純利益	4,199	5,852
四半期純利益	4,199	5,852

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	4,199	5,852
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△166	△128
その他の包括利益合計	△166	△128
四半期包括利益	4,033	5,723
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,033	5,723
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）継続企業の前提に関する注記

当第３四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日)

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

前第３四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	ファッション事業	アニヴェルセル・ブライダル事業	カラオケルーム運営事業	複合カフェ運営事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	64,673	17,952	10,661	10,795	104,082	―	104,082
セグメント間の内部売上高又は振替高	2	12	4	―	19	△19	―
計	64,676	17,965	10,665	10,795	104,102	△19	104,082
セグメント利益	4,972	1,573	989	689	8,225	△426	7,799

（注）１．セグメント利益の調整額△426百万円には、セグメント間取引消去2,387百万円、のれん償却額△400百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,413百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等の費用です。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

② 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ファッション事業」、「カラオケルーム運営事業」及び「複合カフェ運営事業」の各セグメントにおいて、主に店舗の移転が決定し又は損益が継続してマイナスとなり回収が見込めなくなった固定資産について減損損失を認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第３四半期連結累計期間においてはそれぞれ239百万円、61百万円及び37百万円です。

当第３四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額(注)１	四半期連結損益計算書計上額(注)２
	ファッション事業	アニヴェルセル・ブライダル事業	カラオケルーム運営事業	複合カフェ運営事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	70,325	18,761	11,241	12,548	112,878	―	112,878
セグメント間の内部売上高又は振替高	2	15	6	―	24	△24	―
計	70,327	18,777	11,248	12,548	112,902	△24	112,878
セグメント利益	5,823	2,650	905	698	10,078	△472	9,605

(注) １．セグメント利益の調整額△472百万円には、セグメント間取引消去2,484百万円、のれん償却額△400百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,556百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等の費用です。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

② 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ファッション事業」及び「カラオケルーム運営事業」の各セグメントにおいて、主に店舗の移転が決定し又は損益が継続してマイナスとなり回収が見込めなくなった固定資産について減損損失を認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第３四半期連結累計期間においてはそれぞれ148百万円及び７百万円です。

③ 報告セグメントの変更等に関する事項

「２．サマリー情報(注記事項)に関する事項」の会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第３四半期連結累計期間の「ファッション事業」、「アニヴェルセル・ブライダル事業」、「カラオケルーム運営事業」及び「複合カフェ運営事業」のセグメント利益はそれぞれ22百万円、４百万円、８百万円及び17百万円増加しております。

(５) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第３四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日)

① 自己株式の取得

当社は、平成24年11月８日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行い、当第３四半期連結累計期間において自己株式が329千株、625百万円増加いたしました。

② 自己株式の消却

当社は、平成24年11月８日開催の取締役会決議に基づき、平成24年11月20日に自己株式の消却を行い、当第３四半期連結累計期間において自己株式が1,000千株、1,119百万円、資本剰余金が48百万円、利益剰余金が1,071百万円それぞれ減少いたしました。

(６) 重要な後発事象

該当事項はありません。